

人工膝関節置換術を受けられる患者様へ

経過 月日	入院日 (/)	担当医師		担当看護師					退院日 (/)
		手術当日(手術前) (/)	手術当日(手術後) (/)	術後1日目 (/)	術後2日目 (/)	術後3日目～ (/)	術後7日目～ (/)	術後14日目～ (/)	
検査・処置	医師の指示によって採血などの検査を行います。 場合によっては、血糖値を測定する場合があります。		病棟へ戻ってから、体温や血圧などを測り、症状を観察します。必要に応じて、採血の検査があります。 手術後数時間は酸素マスクを装着します。 痰は飲み込まずにティッシュへ出しましょう。 足の血流を良くするマッサージの機械を装着します。 手術部位に血液を抜くための管が入ります。	朝、血液検査があります。 足の血流を良くする機械は、医師の指示があるまで装着します。 医師の診察があります。 手術部位に入っている管は、血液の量が少量になりましたら抜きます。		朝、血液検査があります。(日付が変更になることもあります。)	朝、血液検査があります。(日付が変更になることもあります。)	創部の抜糸を行います。(創部の状態により日付が変更することがあります) 朝、血液検査があります。(日付が変更になることもあります。)	
内服薬・点滴	現在、内服しているお薬やサプリメントがあれば看護師に教えてください。 内服薬については、薬剤師、または看護師から説明させていただきます。	朝、看護師が内服する薬をお持ちします。 場合によっては内服しないこともありますので、看護師の指示に従ってください。	手術中から点滴を行います。 痛み止め(坐薬もしくは点滴)が使用出来ます。痛みがある時は我慢せずに看護師を呼んで下さい。 食事を再開した時点で、痛み止めの内服が始まる予定です。	抗生剤の点滴を1日3回実施します。血液検査の結果で終了します。 (抗生剤の回数は医師の指示により変わることがあります。) 痛み止めの内服薬を飲み始めます。					
安静度	痛みが無ければ、院内歩行は自由です。 医師の指示がある際は、松葉杖・車椅子を使用しますので、看護師の指示に従ってください。病棟を離れるときは看護師に声をかけてください。	看護師と一緒に手術室へ(歩行・車椅子・ベッド)で向かいます。	基本的にベッド上での安静となります。手術中から尿道に管が入ることがあります。	看護師介助のもと離床を進めていきます。看護師からの説明がありますので、指示に従っていただきますようお願いいたします。 リハビリテーションが始まります。	リハビリテーションの進み具合によって、歩行や車椅子を使用しての日常生活となります。 看護師からの説明があるので、指示に従っていただきますようお願いいたします。				
食事	治療食でない限り、制限はありません。 手術に伴いコンビニ等で水・お茶・スポーツドリンクのうち、お口に合うものを用意して下さい。	0時から絶食です。 飲水は()時までです。飲水量は自由ですが、飲んだ量を看護師にお伝え下さい。	医師からの指示があるまで、経口摂取はできません。 手術2～3時間後から看護師見守りのもと飲水開始となります。飲水開始後問題なければ、食事開始となります。	食事が再開になります。					
看護・指導	看護師が入院するまでの経過や自宅での生活についてお話しを伺います。また、術前後についても説明を行います。 病棟のご案内をいたします。 手首にネームバンドを装着させていただきます。 同意書の確認を行います。 麻酔科医師・手術室看護師より説明があります。 シャワー浴・洗髪・爪切りを済ませて下さい。	時計・眼鏡・アクセサリ・ヘアピン・義歯・コンタクトレンズ・かつらは手術前に外します。弾性ストッキングを着用してから、手術室に向かいます。 貴重品は鍵付きのボックスで紛失の無いように保管して下さい。 手術中は看護師が鍵を預かっていただきます。手術が終了したら、鍵をお返しします。	自宅へ戻ります。	体拭きまたはシャワーに入ります。 シャワー浴を行うことが出来ます。(男性日と女性日があります。)			退院日について医師と調整することがあります。 入院が長期になる場合は医師から転院の説明があります。	【退院指導】 ・痛みが増した ・傷から血が出る ・腫れが増した ・傷の赤みが増した ・熱が出る 上記のような症状がある際には病院へ電話し、外来を受診してください。	

上記のスケジュールにそった入院生活になる予定です。予定は変更になる場合があります。ご不明な点は遠慮なくお尋ねください。

注) 1 入院期間については、現時点で予想されるものです。